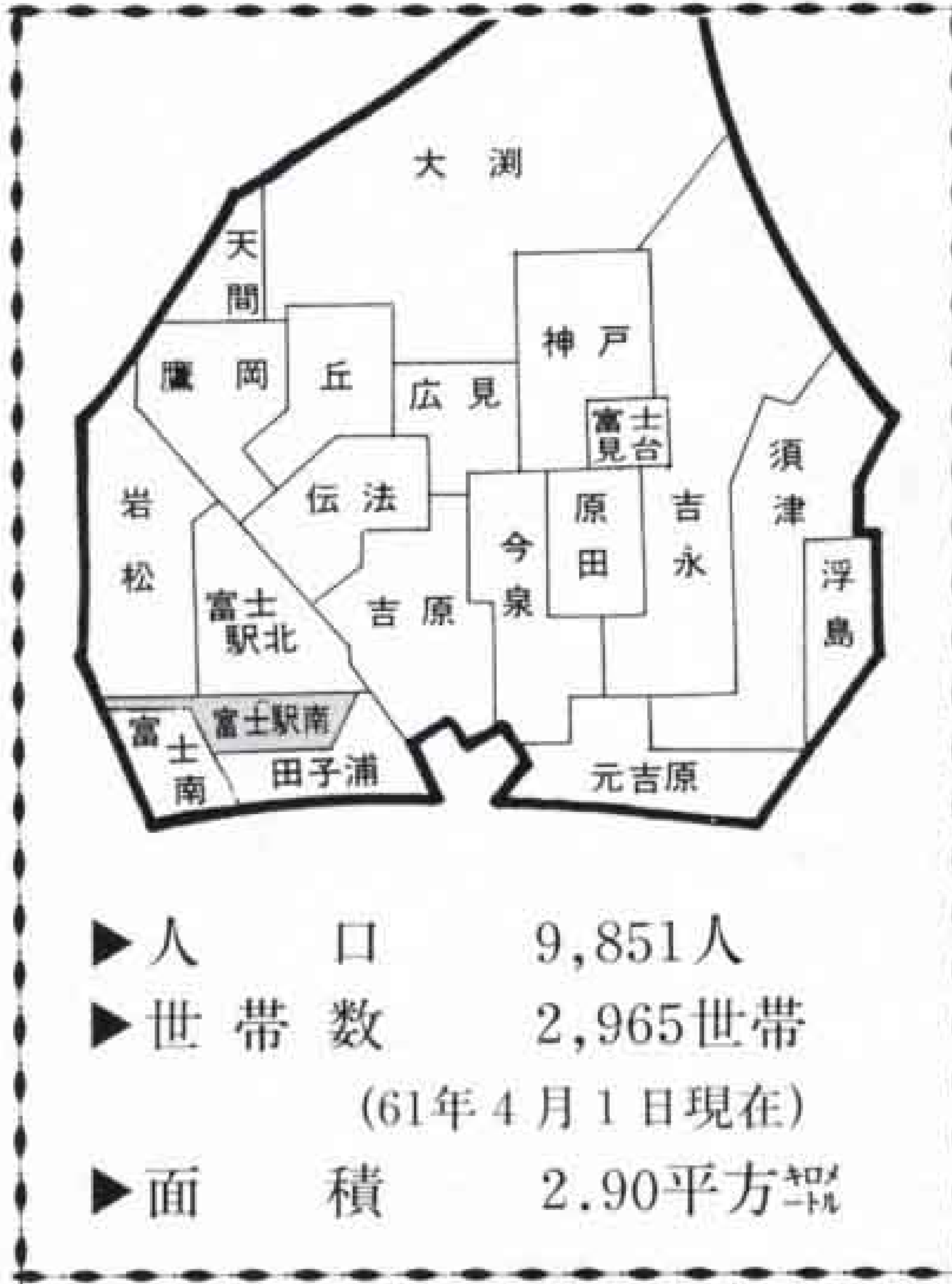


かごと ネットワーク



△新幹線新駅との接続地域として発展が予想される駅南地区



富士駅南

ふれあいと活気あふれる クリーンと クリーンのまち

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。8月は富士駅北、9月は天間地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。

富士駅南地区は、国鉄富士駅の南側を中心に東西に長く広がる地区です。この地は昔、賀嶋といわれ、平安時代からの荘園、賀嶋荘のあったところでした。

この荘園は、岩本実相寺から、元吉原今井、潤井川西岸までを含んでいましたが、両端の地を除き、富士川が乱流していて、わずかの微高地に集落が点在していたにすぎませんでした。

しかし、江戸時代初期、古郡孫太夫父子二代による「かりがね堤」の完成で新田が開発され、加島五千石といわれる稲作地となりました。

地区は、近年まで昔の面影を残していましたが、駅前の区画整理も重なり、高度経済成長期の人口流入の地の利もあって、住宅地として発展してきました。

水戸島の南西の地域は、水田と特産「富士ナシ」の果樹園の広がる田園地帯として残っています。

また、地区の東は、東芝、大昭和の二大企業を初めとする工業地帯となっています。



おじやます
おします

サッカー一家

下横割 長橋さん一家

子供がサッカー少年団に入ったのをきっかけに、お父さんのみならずお母さんまでサッカーに熱中しているのが下横割の長橋さん一家。今回は、チームワーク満点のサッカー一家におじゃましました。

長橋さん一家は、世帯主の和元さん、妻久江さん、母ノブさん、小五の康弘君、小二の愛ちゃん小一の佳佑君の六人家族です。

「サッカーの練習がほとんど毎日あるので、生活のリズムは練習の予定に合わせています」（久江さん）

和元さんは、現在、育成会の役員と富士選抜チームの世話役をしています。

また、久江さんは、二年前に母親チームができたときから始め、いまはライトウイングとして活躍しています。

末っ子の佳佑君もことしからチームに加わり一層にぎやかになりました。

「自然とルールがわかってきました。私は家事で応援します」と言うのは一家のゴールキーパー役ノブさん、愛ちゃんとともに大事な応援団です。

家族全員で一つのことに取り組み、チームワークが満点家族です。